

床用塗料

フロアトップ® #7000

NTX 2液 無鉛
溶剤型アクリルウレタン

フロアトップ#7000は、アクリルウレタン樹脂をベースとした二液溶剤型のコンクリート床用塗料です。フロアトップ#5000の約1.3倍の塗膜厚が得られ、耐候性、耐汚染性が非常に優れています。フロアトップ#7000は、その優れた耐候性を生かし、エポキシ塗料の外部用トップコートとしても使用されています。



特長

- (1) 抜群の耐候性で、耐汚染性、耐傷付き性に優れています。
- (2) ウレタン系樹脂を使用しているため、耐摩耗性に優れています。
- (3) 耐油性に優れているため、#500油面プライマーのトップコートとして最適です。
- (4) 三分艶タイプで、落ち着いた美しい色彩が得られます。
- (5) マークレスとの併用で強靱な艶有り仕上げの床が得られます。

(社)日本塗料工業会登録	
登録番号	A03001
ホルムアルデヒド 放散等級	F☆☆☆☆

用途

- (1) 各種工場／機械加工工場、精密機械工場などで比較的耐久性が要求される場所。
(油で汚れた床には#500油面プライマーと併用してください。)
- (2) 一般建築物／事務所、病院など人の通行が激しい床、また落ち着いた感触が要求される床。
- (3) マンションの廊下等、開放時間の短い場所。
- (4) 屋外にフロアトップ#8000を使用した場合のトップコート。

標準色・内容量・塗り面積・可使用時間

〔内容量〕 ※15kgセット(主剤14kg、硬化剤1kg)
※3.75kgセット(小缶・受注生産)(主剤3.5kg、硬化剤0.25kg)

〔標準色〕 11色 (別刷カラーサンプルを参照してください。)

〔塗り面積〕

コンクリート (標準面)	コーティング工法	2回塗り	40~50㎡
	コーティング防滑工法		30~40㎡

(注) コーティング防滑工法は現場で砂6号を散布して塗装します。

〔可使用時間〕 #9サマーグリーン、#10ディープグリーン、#11グリーン=2時間前後・他の色=約4時間



アトミクス株式会社 塗料事業部

〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-12-1 TEL.0480-65-1233(直通) FAX.0480-65-1161
本社 〒174-8574 東京都板橋区舟渡3-9-6 TEL.03-3969-3111(代表) FAX.03-3968-7300

施工仕様例

(コーティング工法) 工法記号AUS-I

(注1)

工程	製品名	希釈量(重量%) 合成シンナーNo.2	塗布量 (kg/m ²)	施工方法	塗装間隔 23℃(時間)
1	下地処理	-	-	・コンクリート打設後、4週間以上経過していることを確認し、含水率を必ずチェックします。 ・下地目荒らしのサンディング処理は必ず行い、素地に付着しているレイタンス、ごみ、油なども除去します。	-
2	下塗り	#800プライマー	0.2	・主剤:硬化剤を1:1(重量比)で攪拌混合し、ローラー塗装します。	2~8
3	中塗り	#7000	0.17	・#7000の主剤と硬化剤を14:1(重量比)で混合した後、合成シンナーNo.2で20%希釈したのちローラー塗装します。	2以上
4	上塗り	#7000	0.17	・中塗りと同様。	-

(コーティング防滑工法) 工法記号AUN-I

(注1)

工程	製品名	希釈量(重量%) 合成シンナーNo.2	塗布量 (kg/m ²)	施工方法	塗装間隔 23℃(時間)
1	下地処理	-	-	・コーティング工法と同様。	-
2	下塗り-1	#800プライマー	0.2	・主剤:硬化剤を1:1(重量比)で攪拌混合し、ローラー塗装します。	2~8
3	下塗り-2	#800プライマー 珪砂6号	0.16 0.15~0.3	・下塗り-2(#800プライマー)塗装後、直ちに珪砂をリシガン等を用いて、均一に散布します。乾燥後、余分な砂分があれば回収します。	2~8
4	中塗り	#7000	0.24	・#7000の主剤と硬化剤を14:1(重量比)で混合した後、合成シンナーNo.2で20%希釈したのちローラー塗装します。	2以上
5	上塗り	#7000	0.2	・中塗りと同様。	-

(油面工法)

(注1)

工程	製品名	希釈量(重量%) 合成シンナーNo.2	塗布量 (kg/m ²)	施工方法	塗装間隔 23℃(時間)
1	下地処理	マジソル	0.6~0.7	・素地に堆積している油泥を除去します。劣化下地を除去します。 ・マジソルを床に散布したのち、デッキブラシやポリッシャーなどで油泥の残りを洗浄します。	24以上
2	下塗り	#500油面プライマー	0.4	・A材:B材を1:1(重量比)で攪拌混合し、ローラー塗装します。	3~24
3	中塗り	#7000	0.2	・コーティング工法(3)と同様。	2以上
4	上塗り	#7000	0.2	・コーティング工法(4)と同様。	-

(注1) 学校室内環境規制などの規制がある場合の仕様については当社までお問い合わせ下さい。※塗装間隔は最短時間と最長上塗り可能時間です。

注意事項

1. 塗装(施工)前の注意

- (1) 5℃以下の場合には、塗装を避けてください。
- (2) 降雨・降雪・高温・高温時及びその恐れがある場合には、塗装を避けてください。
- (3) 下地調整は、塗料の付着力を決定する重要な工程です。施工仕様例等を良くお読みの上、充分注意して行ってください。

2. 塗装(施工)中の注意

- (1) 下地が濡れている場合には、充分に乾燥させてから次の工程に着手してください。
- (2) プライマーの乾燥後、時間を開け過ぎると、上塗り塗料との付着力が低下する場合があります。プライマーとその次の工程までは、同一日に塗装する様をお願いします。
- (3) 塗装中は、換気を良くし、火気の取扱いは厳禁してください。
- (4) 二液性塗料の計量、混合攪拌は、はかり及び電動攪拌機を用いて行い、可使時間(ポットライフ)にも充分注意して塗装してください。
- (5) 塗料を小分けする場合は、必ず小分け前に充分に攪拌し、均一にした後に行ってください。
- (6) 有機溶剤を使用した塗料のため周辺での火気、スパーク、高温物は使用しないでください。
- (7) 静電気対策のため、使用する装置などは接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用してください。
- (8) タンク内部の密閉場所で作業をする場合には、密閉場所、特に底部まで充分に換気出来る装置を取り付けてください。

3. 塗装(施工)後の注意

- (1) 湿度が高い時、気温の低い時は乾燥が遅れる場合があります。塗装工程では、常に乾燥状態を確認してから次の工程に入ってください。
- (2) 養生時間 歩行開放=3時間以上 重量物開放=16時間以上(気温23℃・湿度50%)

4. 塗装面別の注意

- (1) 新設コンクリートは最低4週間以上の養生が必要です。素地コンクリートに水分が多い場合は塗装を避けてください。塗装前に素地面にポリシート(1㎡以上)を張り付け、翌日、素地面が黒くなったり、ポリシート内面に水滴の付着がないことを確認した後塗装してください。(ケット科学 HI-500型水分計の場合、Dモードで800以下、チャンネル4で4.5~5以下を目安にする)
- (2) 油面コンクリートは、下地の状態により処理方法が異なりますので、標準施工例を参照し、#500油面プライマーを下塗りしてください。
- (3) 既存塗膜面の塗り替えは、既存塗膜の除去が必要かを確認し、除去しない場合は、当社発行「フロアトップ資料編」の相互付着表をご参照ください。(既存塗膜の種類によって塗装仕様が異なります。)
- (4) 風化したコンクリート面、粉っぽいコンクリート面には#800プライマーを2回塗りしてください。
- (5) 強化コンクリート面・油の付着している強化コンクリート面に塗装する場合、下地処理の方法や下塗剤の種類が異なりますので、当社にお問い合わせください。
- (6) 工場床でフォークリフトのタイヤマークの付着が予想される場合、マークレスカラー工法(マークレスカタログ参照)にて塗装してください。

5. 全般的注意

- (1) 製品ご使用の際には、当販促物の他、製品本体記載の注意事項及びMSDS(製品安全データシート)をよくお読みください。
- (2) 改良等の為、①製品の中身、仕様 ②販促物の内容等は将来予告なしに変更する場合があります。
- (3) 当販促物に表示してあります塗り面積、工法はあくまでも設計上の標準的な数値です。塗装の際の諸条件によって増減する場合があります。
- (4) 製品本体及び当販促物に記載されている、定められた用途以外には使用しないでください。またご使用方法等につきましてご不明な点がございましたら、必ずご使用前に当社にお問い合わせください。